

なぜインドの エンジニアたちは 世界トップクラス なのか。

世界2位の人口大国は、
グローバル理工大国でもあった——
インド理工人の今がわかるシンポジウム、
開催します。

高入試倍率。
50倍に
なることも!

異文化なんて
怖くない!

講義は
ほとんど英語で。

遅刻なし、
居眠りなし、
アルバイトなし。

視線は常に
海外へ!

東京工業大学

経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援事業

——シンポジウム2014——

理工人の未来設計 躍進する インドと日本

【対象】 高校生／大学生／教育・企業関係者／
インドの科学技術と人材育成に興味のある方

日時 ▶ 2014.12.9 (火) 16:50-19:20

会場 ▶ 東京工業大学大岡山キャンパス
70周年記念講堂

東急大井町線・目黒線「大岡山」駅下車 徒歩3分

参加費 ▶ 無料

下記webサイトの入力フォームよりお申し込みください。(10月上旬オープン予定)

<https://form.gsic.titech.ac.jp/ghrd/sympo/entries/new>

問合せ先: 東京工業大学 グローバル人材育成推進支援室
ghrd.info@jim.titech.ac.jp

理工人の未来設計 躍進するインドと日本

高度科学技術人材の活躍の場は先進国に留まらず新興国の様々な分野へ広がっており、我が国でも国境を越えて活躍できる人材が必要とされています。今年度のシンポジウムは新興国として発展が目覚ましいインドに焦点をあて、日本とインドをまたがって活躍される両国の出身者より自身の経験を踏まえて高等教育、企業戦略、科学技術戦略等の現状を紹介いたします。本シンポジウムを通じ、新興国インドと我が国の今後の発展についてそのあり方を検討し、若者や実務者の今後のキャリア形成の参考となるようなメッセージを送ります。

講演者（敬称略）

開会挨拶・基調講演 1

新興国インドと日本

三島 良直
東京工業大学 学長



基調講演 2

新興国インドの 科学技術に関する研究と 教育の現状

チャダラム シバジ
インド大使館参事官（科学技術分野担当）、博士（理学）



インドの高等教育

インド工科大学での
学部生活を中心に

アビラム アナンド ライルカー（写真上）

東京工業大学大学院 理工学研究科
機械制御システム専攻 修士課程 2 年



マイフズ アリ（写真下）

東京工業大学大学院 理工学研究科
電気電子工学専攻 博士研究員、博士（工学）



外国人専門家として 日本で働くこと インド人科学者の体験

ジュネジャ レカ ラジュ

ロート製薬株式会社 取締役副社長
（海外事業・技術担当 兼 チーフヘルスオフィサー）、
博士（農学）



インドでのインターンシップ 可能性発見の3ヶ月

高橋 俊介

東京工業大学大学院 理工学研究科
材料工学専攻 博士課程 1 年



日本企業のインド戦略 安全な飲料水の普及をめざして

橋本 泰宏

パナソニック株式会社 先端技術研究所
グリーンイノベーション研究グループ 主任研究員、
博士（理学）



閉会挨拶

丸山 俊夫

東京工業大学 理事・副学長（教育・国際担当）



参加申込用紙

東京工業大学 経済社会の発展を牽引する
グローバル人材育成支援事業シンポジウム2014
「理工人の未来設計」～躍進するインドと日本～

FAX 03-5734-3120

必要事項を記入の上、 送信ください	参加者情報	フリガナ				e-mail	
		お名前					
	同伴者情報	同伴者数		同伴者名			